

資源循環の杜へ せんだいリブート

世界的に喫緊の課題となっているプラスチックごみ問題や気候変動などに立ち向かうために、仙台では長年にわたる市民、企業団体、行政の協働により培われてきた取り組みを継承した、新たな動きが生まれています。

今、この動きを新しい視点で捉える時期に来ています。私たちは新たな動きを、「せんだいリブート(再起動)」と名付け、その意味について考え、試みていきます。

本イベントは、デモンストレーションやトークを通じて、再生可能な資源をユニークな視点でとらえた驚きの実践や、長く愛されるものやことをつくるため、複雑な現実と格闘しているビジネスに注目し、私たち一人ひとりが向き合うこと、できることについて考えていくものです。

本企画のお問い合わせ

仙台市環境局家庭ごみ減量課
[Tel] 022-214-8229 [Fax] 022-214-8277 [Email] kan007220@city.sendai.jp

当日のお問い合わせ

せんだいメディアテーク 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
[Tel] 022-713-4483 [Email] artnode@smt.city.sendai.jp [Website] https://artnode.smt.jp

※体調のすぐれない方、発熱や咳、倦怠感のある方は参加をお控えください。やむを得ず、内容が変更になる場合があります。予めご了承ください。



このチラシはリサイクルできます。

art
node



せんだいメディアテーク
1階 オープンスクエア

【主催】仙台市環境局、せんだいメディアテーク(公益財団法人仙台市市民文化事業団)
【協力】東北大学大学院環境科学研究科、アムニティ・せんだい推進協議会

リブート せんだい

2023

8.5

(土)

11:00

16:30

予約不要

入場無料

直接会場へ

資源循環の杜へ

第1部

市内の取り組み、企みが集結!

ここ数年、仙台市内外で取り組まれているごみ・環境をテーマにしたユニークな部活やプロジェクトが集います。デモンストレーションや活動紹介などを行います。

時間 11:00 ~ 15:30



ワケあり雑がみ部

不要物を利用した作品やシステムづくりで知られるアーティストの藤浩志によるプロジェクト。仙台市のごみ分別区分のひとつである「雑がみ」をテーマとし、自由な造形活動や分別を楽しむ「ワケあり雑がみ部」を行っています。



コンポスト部 (tsugi)

LFCコンポストアドバイザーの2人が、バッグ型コンポストを使った生ごみの資源循環を広める活動をしています。普段は相談会やみんなでコンポストを持ち寄り、堆肥の見比べっこをするなど継続的にフォローアップできる活動しております。



画像提供：ローカルフードサイクリング株式会社



古着入門道場

古着好き大学生柔道部員が古着の魅力を発信する活動です。古着を着てみたいけど機会がない人、古着屋に行ってみみたいけど勇気が出ないという人といっしょに、柔道の稽古になぞらえたトークイベントや、実際に古着を着て体験する企画を行っています。



漁網部 (常吉)

漁網は世界で最も多い海洋ごみの一つ。おいしい魚や牡蠣などの水産物が食べられるのも、漁網などの漁具の存在があってこそ。知っているようで知らない「漁網」について、気軽に集まって話し、編み物をする憩いの場を作っています。



海ごみ部

(海辺のたからもの&みやぎ海岸美化協議会)

私たちが何気なく棄てているプラスチック。どうやってリサイクルされているか、実際に自分たちで溶かして体験してみましょう。普段の活動は仙台・みやぎの海岸で、調査やビーチクリーンにも取り組んでいます。今回は、仙台の海に流れてしまったプラごみたちも展示します。



関連イベント

ワケあり雑がみ部的 大人の分別

[日時] 8月4日(金) 11:00~16:00

[場所] せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア

■入場無料 ■予約不要 ■直接会場へ

部長の藤浩志さん(アーティスト)、が楽しむための分別のコツや心構えをレクチャーし、実際に雑がみ部的分別をしてみます。その他、雑がみ部員への公開インタビューなども行います。

第2部

トークイベント: Pack for the future

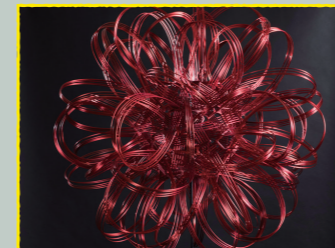
行政・企業のプラスチック資源循環や容器包装デザインの今と未来を学ぶトークを行います。

時間 13:30 ~ 15:30 司会・ファシリテーター: 奥口 文結 (FOLK GLOBALWORKS)

セッション1 「機能とデザインで実現する資源循環の未来」 secca inc.×石川樹脂工業株式会社 ×トルムスイニシエイト株式会社

セッション2 「容器はごみか、インフラか?」 東洋製罐グループホールディングス株式会社

クロストーク パネルディスカッション モデレーター: 東北大学大学院環境科学研究科 松八重 一代 教授 他



secca inc.

独自の視点でこれからの問いを見定め、それらに対応した新たなモノと体験を生み出すことによって新価値の造形を目指すクリエイティブ集団です。



石川樹脂工業株式会社

樹脂成型メーカーとして新しい技術への挑戦を通じて時代の先端を走り続けています。1000回落としても割れない食器“ARAS”などを中心にデジタル・伝統技術・デザインの力を組み合わせ、ものづくりのサステナブルな未来を世界に発信していきます。



トルムスイニシエイト株式会社

植物由来の廃棄物資源を中心に、類稀な技術によってプラスチック製品に複合させ、資源循環およびプラスチック使用量・CO2排出量の削減に寄与する環境配慮型プラスチック製品の元となる成型基材(コンパウンド)などを提供しています。



東洋製罐グループホールディングス株式会社

誰もが毎日その手に触れる「容器」。そんな人との“つながり”を通じて世の中をもっと便利に、もっと楽しく。あなたの側で人々の幸せを実現する総合包装容器メーカーです。



第3部

リポート交流会

参加者同士で、資源循環の取り組みの紹介や交流の場を開きます。

時間 15:45 ~ 16:30

